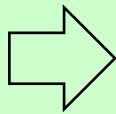


畑かん用水を活用した農業経営により成長を続け地域農業をけん引 ～(株)岩永農園～

経営体の概要

設立年度：昭和60年頃
基幹作物：かんしょ、いちご
経営面積：1.2ha



現在：令和4年
基幹作物：かんしょ、だいこん、ごぼう
経営面積：53.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

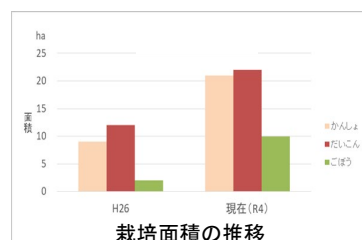
畑地かんがい用水の導入以前は、家族経営で肉用牛とかんしょ及びいちごを栽培し市場出荷していたが、畑地かんがい用水の導入後に法人化して12名を雇用し、契約栽培や道の駅での直売、借地による周辺農地の集積を図りつつ、畑地かんがい用水を活用しただいこん、ごぼう等の計画的な作付等に取り組み、約53haまで経営面積を拡大した。

曾於北部地区の畑地かんがい活用のリーダーとして、現在も経営規模を拡大を図りながら地域農業をけん引している。

営農改善のポイント

①作物の変化

畑地かんがい用水導入前はかんしょ及びいちごを栽培していたが、畑地かんがい用水の導入を契機に、だいこん及びごぼうを栽培するとともに、地域の食品会社とのかんしょの契約栽培により栽培面積を拡大した。



②栽培技術の確立・向上

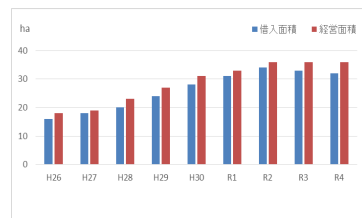
農業生産技術の向上及び生産の効率化を進め、関連事業により導入したロールカー等でかん水を行うことで、野菜の播種・定植作業の計画的な実施が可能となり、収穫時期が分散することによって、経営規模及び契約栽培の拡大に繋がった。



ごぼうのかん水作業(ロールカー)

③規模拡大・土地利用調整

ほ場管理を徹底することで、経営規模を縮小する農家等の信頼を得ながら農地を集積し、経営規模を拡大している。



経営規模拡大の推移

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：曾於市

受益面積：2,052ha

事業期間：平成18年～平成26年

事業目的：畑地かんがい 等

主要工事：ダム1箇所、頭首工1箇所、

用水路L=68km、ファームポンド5ヶ所 等

位置図(鹿児島県)



曾於北部地区

<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
電話：096-211-9111
(内線：4780)

(令和4年度調査時点)